

亶理町の防潮林再生グリーンベルト プロジェクト

【プロジェクトの概要】

東日本大震災で失われた防潮林の再生を通し、宮城県亶理町のまちづくりを考える「わたりグリーンベルトプロジェクト」。町民50名が集い、2012年6月から5回のワークショップを行い、防潮林を復興するためのマスタープラン（基本構想書）を作りあげた。

南北4km、東西1kmの沿岸部エリアに、津波から人々を守る強い防潮林を創り上げる。

また、これらの森創造事業には町外からも多くの企業、一般ボランティアが参加、グリーンツーリズムとして亶理町の新たな観光資源を創出。2011年からツーリズムとして苗木づくりをすすめ、2014年から植樹を開始。10年間かけて約145haの土地に「おらほの森」の基礎を作る。

町民主導の「わたりグリーンベルトプロジェクト」は、

1. 復興のシンボル：伊達政宗の時代から培われた強い防潮林の復活
2. みんなで作る復興まちづくり：町民主体での復興計画の策定と実現
3. ツーリズム：苗木づくりを通し、持続可能な形で地域ファンを増加を目指す。

2015年2月にはNPO法人化（特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト）し、亶理町民2名が代表理事となり活動を継続している。

